

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動

1) 資格認定講習

受講者数を維持すべく、【東京】国立オリンピック記念青少年総合センター（平成30年1月6日土曜～7日日曜）と【北海道】札幌科学技術専門学校（平成29年9月30日土曜～10月1日日曜）にて開催し24名の受講者であった。内訳等は以下のとおり。

平成29年度受講者数内訳

級	人数
上級	1名
中級	21名（うち北海道1名）
初級	2名（うち北海道1名）

環境再生医受講者推移（直近5年） (単位：人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
初級	17	7	9	12	2
中級	13	7	14	13	21
上級	3	3	3	0	1
合計	33	17	26	25	25

2) 認定校制度

212名の環境再生医初級を認定となり、平成19年度以降過去最低の認定者数となった。

認定校での認定者数推移（直近5年） (単位：人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
認定校	298	287	247	337	212

2017年度 認定校 環境再生医 取得者数

認定校名	学部	取得者数(人)
日本大学	生物資源科学部	37
岩手県立大学	総合政策学部	18
芝浦工業大学	システム理工学部	17
岐阜大学	応用生物科学部	12
尚絅学院大学	総合人間科学部	12
東京農工大学	農学部	12
第一工業大学	工学部	9
IWAD環境福祉専門学校	みどりの環境学科	8
常葉大学	社会環境学部	8
龍谷大学	(学部共通)	8
岩手大学	人文社会科学部	7
神戸大学		7

専門学校東京テクニカルカレッジ		7
西日本短期大学	緑地環境学科	7
拓殖大学	政経学部	6
岐阜女子大学	家政学部	5
京都学園大学	バイオ環境学部	5
神戸女学院大学	人間科学部	5
拓殖大学北海道短期大学	農学ビジネス学科	4
岩手大学	農学部	3
大阪産業大学	人間環境学部	3
東海大学	海洋学部	3
日本工科大学校	環境建設工学科 土木・造園コース	3
都留文科大学	文学部	2
九州産業大学	工学部	1
実践女子大学	生活科学部	1
長崎大学	環境科学部	1
日本大学	理工学部	1
甲南大学	文学部	0
玉川大学	農学部	0
伝統文化と環境福祉の専門学校		0
東海工業専門学校金山校	昼間部	0
北海道科学大学	工学部	0
宮城大学	食産業学部	0
宮崎大学	農学部	0
	合計	212

3) 資格制度の質の向上

ネットワークの活性化を目的に宮城県にてイベントを開催した。

4) 資格取得者の管理（更新等）

更新率対象者数56名のうち34名が更新を行った（60.7%）。

5) 都市農業機能発揮対策事業

□目的

西東京市周辺住民の防災協力農地の周知等に取り組みながら、自治会活動の停滞要因と住民が必要と考えるニーズを知り、地域住民が防災協力農地の周知活動などを通じ、地域住民及び農地所有者や農業関係者での防災協力農地等の制度の一層の周知を図る。

□実施内容

- ・防災協力農地が持つ防災機能の維持・強化及び地域住民等への周知

イベント実施	1年目のアンケート結果のフィードバックを行い、地域住民組織、社会福祉協議会、NPO法人等より協力・支援を得ながら、防災協力農地等にて地域住民等へ防災協力農地や都市農業の多面的機能を周知するイベントを4回実施した（うち、被災時の訓練含むものは2回）。 【時期】平成29年10月29日（日）午前・午後、平成30年2月24日（土）9:00～12:00、平成30年3月31日（土）午後
仕組みの構築	NPO等の協力・支援を得ながら、イベント開催の過程で、継続的に防災協力農地を活用する取り組みや、防災協力農地が普及・啓発され続けるための仕組みの構築を検討し、ボランティアと保全活動のマッチングプロジェクト「東京レンジャーズ」を試行した。 【時期】平成30年2月24日（土）9:00～12:00

・その他防災協力農地を活用・普及するための取組

防災協力農地が活用・普及されたかどうかを把握することを目的にアンケート調査・分析を行った。また、住民が考える地域のシンボル空間や必要な地域活動の意向の調査から、当地区で都市農業の多面的な機能を周知するための課題を摘出した。

さらに、上記イベントや新たな取り組み等の普及活動を行った。

アンケートは調査票の作成、印刷・郵送、集計及び取りまとめた。なお、郵送は平成28年度にアンケート調査を実施した北町5丁目、下保谷2・3丁目を対象(約2200戸)とした。

② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

1) レンジャーズプロジェクト

レンジャーズ隊員の派遣を49回（関東42回・大阪7。企業レンジャーズは含まない）
隊員登録数は2,813名。

横浜市内での実施はNPO法人よこはま里山研究所との協働で行うことによって、効率良く運営を行えた。

5団体（東京都公園協会 神代植物公園、ソニーグループ、NPO法人birth、NPO法人フュージョン長池、拓殖大学等）から受託したプログラムを実施した。

渋谷区の助成金「みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付事業」にて渋谷区内での活動を行った。

③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

1) ふるさと未来創造事業

農林水産省「平成29年度農山漁村振興交付金」の採択があった地域協議会等（7団体）より受託しつつ以下の業務を行った。

団体名称／地域	内容
NPO法人浜わらす／宮城県気仙沼市本吉町	都市住民等への海辺の自然体験プログラム提供の事業化
宇都宮農村交流プロジェクト協議会／栃木県宇都宮市上河内	地域資源（農地・河川・歴史伝統文化等）を活かしたグリーン・ツーリズムプログラムの開発
喜連川公方城下町再生プロジェクト協議会／栃木県さくら市	地域資源（農林漁業・歴史伝統文化等）を活かしたグリーン・ツーリズムプログラムの開発
高倉ふるさとづくりの会／埼玉県鶴ヶ島市高倉	農業と福祉の連携。施設外就労を中心とした障害者雇用による農業の活性化。
道志村農泊実施協議会／山梨県道志村	農山漁村滞在型旅行の事業化を目指し、MTBプログラムの開発とアドベンチャーツアープログラムの開発を行った。
松崎町半農半IT促進協議会／静岡県松崎町	長期滞在型の半農半IT研修プログラムを開発した。
金沢・平町活性化協議会／石川県金沢市平町	地域資源（千本桜や螢・食・伝統文化等）を活かした地域活性化。

大阪マラソン2017と湘南国際マラソン2017の公式寄付先団体として採択され以下の活動を行った。

名 称	大阪マラソン
内 容	
(宮城県気仙沼市本吉地区)	「気仙沼における海の自然体験プログラム」として尚絅学院大学や宮城県内の若手環境再生医を対象に「里海再生スタディーキャンプ」を開催した。 里海再生や環境再生に関心をもつ若者へ学びときっかけ、交流を目的にスタディーキャンプ「里海再生」を開催した。南三陸復興商店街見学、本吉町小泉地区防潮堤視察、本吉町大谷地区防潮堤計画学習、講義「気仙沼市の里海」菊池敏男（漁師）、学生経営のコミュニティビジネスゲストハウス「架け橋」との交流、ビーチコーミング等を行った。

日 時：平成30年2月24日（土）～25日（日）
参 加：10代2名、20代2名、30代1名

（静岡県松崎町石部地区）

石部棚田におけるホタルの里の再生・保全・体験会を開催した。

1. ホタル水路の保全活動

(1) 大雨等によって取水口や水口周辺のパイプ等がずれたり損傷したりするため、補修作業を行った。

(2) 水路周辺が外来種で繁茂している状態となつたため、周辺の田んぼへの影響を考慮し草刈りを行つた。

2. 「ホタルの先生」による現地ガイド付きホタルエコツアーの開催

平成29年6月3日、静岡県松崎町石部地区の棚田にて平成28年に大阪マラソン寄付金を活用して造成したホタル水路ならびにホタルを観察するホタルエコツアーを開催した。

ホタル水路設置1年目は水路にホタルが棲息している状態ではないため、石部棚田におけるホタル水路の趣旨や構造を中心に説明を行つた。

また、3頭程ホタルが舞う姿を確認できた。

（大阪府全域）

大阪府内の自然環境保全活動を促進するおおさかレンジャーズプロジェクトを行つた。

1. おおさかレンジャーズプロジェクト

地域に密着し、大阪府内の自然環境保全活動を行つてゐる環境NPOの人手不足を解消すると共に、保全フィールドを次世代につなぐことを目的に、当協会がモデル的に実施していた若手ボランティア人材派遣活動「レンジャーズプロジェクト」を大阪府内2か所（大阪城公園・高槻市内の芥川）にて開始した。

（活動完了分）

2017年6月11日、和芝が広がる景観をまもれ！in 大阪城公園

2017年7月15日、アプローチが大事！親水護岸の環境整備 in 芥川緑地

2017年9月23日、ビオトープ再生への道！クレソンの駆除 in 大阪城公園

2017年10月28日、やってみお！川の流れ「みお筋」の環境整備 in 芥川緑地（雨天のため延期）

2017年12月23日、ウェルカム！お城の森の環境保全 in 大阪城公園

2018年1月20日、やってみお！川の流れ「みお筋」の環境整備 in 芥川緑地

2018年2月25日、梅見の前に！お城の森の環境保全 in 大阪城公園

2. 講習会等

2017年、おおさかレンジャーズ Start Up イベント（於：アネックスバル法円坂）を開催した。

（1）講演

「大阪の生物多様性と生態系の繋がりを保全しよう」大阪産業大学 教授 前迫ゆり

（2）フィールド紹介

「芥川」NPO法人芥川俱楽部 川上 隆

「大阪城公園&現場視察」大阪城パークセンター 緑地管理部門責任者 菅野浩一（環境再生医）

名 称	湘南国際マラソン
内 容	
子ども達が本来もつてゐる「生きる力」を引き出す自然体験活動をNPO法人浜わらすとおして行つた。	
①春のつりっこ大会	
日時：平成29年5月28日（日）9時00分～14時00分	
内容：海の近くに住んでいながら、海との関わりが少ない子どもたちが身近に海の暮らしを楽しめるよう、ライフジャケットの装着方法や地域の方に指導をうけながら釣りを実施しました。	
②田植えと沢あそび	
日時：平成29年6月3日（土）9時00分～15時00分	
内容：手作業で田植えをすることにより、お米づくりの大変さ有難みを五感を使って感じる食育体験。	
③かまどをつくろう！	
日時：平成29年6月17日（土）9時00分～15時00分	
内容：災害時に役に立つアウトドアのノウハウを学び、仲間と協力しながら実践的に体験する。その第一段階として、かまどづくりを実施した。	

④ツリーハウスdeキャンプ

日時：平成29年7月26日（水）9:00～27日（木）15:00

内容：東京の子どもたちと気仙沼の子どもたちが一緒に活動、交流することにより、災害への学びを深めると共に、仲間と生活することにより集団行動の力を養う。海の危険予測をみんなで考えた後、砂浜を清掃してから海遊びへ。もちろん、ごはんもカレーも手作り。

⑤いかだづくり＆海遊び

日時：平成29年8月10日（木）9時00分～15時00分

内容：子ども自身がいかだを設計し、材料を選び、組み立てて、海に浮かべる。普段できない非日常を、海を通じて楽しむ。漁師さんのロープワークを教わり、子どもたちの力で作り上げる。

④ 自然体験学習に係る活動

特になし

⑤ テキスト等の出版に係る活動

特になし

⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動

1) ニュースレター

ニュースレター（環境再生事例6頁・進捗2頁）を年4回発行した。

月・No	内 容
6月 No. 56	環境再生活動事例 氏名 関根 洋子氏 テーマ 自然配植緑化技術の考えに基づいた法面植栽
9月 No. 57	環境再生活動事例 氏名 興野 昌樹氏 テーマ 「動物園の森」のビオトープ
12月 No. 58	環境再生活動事例 氏名 福田 真司氏 テーマ 川とひとの関係の再構築「お父さんのための魚とり講座」
3月 No. 59	環境再生活動事例 氏名 川崎康弘氏・里実氏 テーマ 鳥たちの住宅難解消のための巣箱設置

2) ホームページ

ホームページの他、MLとSNS(Facebook・Twitter)にて情報発信を行った。

ホームページの閲覧者数（ランディングページの合計人数）は24,617名であった。

⑦ 自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動

特になし

(2) その他の事業

なし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人數	事業費の金額(千円)
①環境教育 及び環境人材の育成に係る活動	1)資格認定講習 2)認定校制度 3)資格制度の質の向上 4)資格取得者の管理(更新等) 5)都市農業機能発揮対策事業	1)9/30-10/1、1/6-7 2)通年 3)2/24-25 4)通年 5)通年	1)北海道、東京都 2)全国 3)宮城県 4)全国 5)東京都	1)9人 2)2人 3)2人 4)2人 5)3人	1)受講者 2)24人 2)認定者 212人 3)5人 4)更新者 34人 5)イベント参加者等 2,248人	4,217
②身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	1)レンジャーズプロジェクト	1)通年	1)埼玉県、東京都、神奈川県	1)5人	1)登録者 2813人	2,000
③農山漁村活性化及び環境保全型農林業に係る活動	1)農山漁村進行交付金 2)大阪マラソン 3)湘南国際マラソン	1)通年 2)通年 3)5/28-12/3	1)宮城県気仙沼市、栃木県宇都宮市、栃木県さくら市、埼玉県鶴ヶ島市、山梨県道志村、静岡県松崎町、石川県金沢市 2)宮城県、静岡県松崎町、大阪府高槻市、大阪府大阪市 3)宮城県気仙沼市	1)3人 2)13人 3)2人	1)協議会構成員等 810人 2)ランナー 32,000人 3)ランナー 21,730人	16,100
④自然体験学習に係る活動	特になし					0
⑤テキスト等の出版に係る活動	特になし					0
⑥社会啓発や情報発信等に係る活動	1)ニュースレター 2)ホームページ	1)年4回 2)通年	1)東京 2)東京	1)3人 2)2人	1)発送数 4,400人 2)閲覧者 24,617人	1,040
⑦自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動	特になし					0

(2) その他の事業
なし

事業名	事 業 内 容	実 施 時	実 施 所	従事者 の人数	事業費の 金額 (千円)